

商 団 連

第323号

平成23年1月1日

1部 50円

発行所

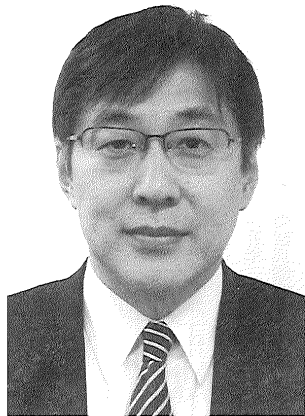
全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区虎ノ門1-8-10

セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)

電話 03-3591-1251(代表)

編集発行人 平 澤 和 人



年 頭 所 感

中小企業庁 長官 高原 一郎

平成23年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

現在の中小企業の皆様をめぐれる情勢は、統計上は一部、回復の動きが見られ

るものの、昨今の円高の影響等により、経営現場の感覚としては、依然として非常に厳しいと声をよく耳にいたします。

企業数の99.7%、雇用の7割を占める中小企業の皆様は、我が国経済の活力の源泉であります。昨年6月、中小企業政策の理念や我が国経済社会における中小企業の位置付け、政府が取り組むべき行動指針などについて、中小企業憲章

として閣議決定を行いました。今後とも中小企業憲章の内容に則り、我が国経済を支える中小企業の皆様の活性化のため、政策を総動員して取り組んでまいりたいと思っております。

なかでも、資金繰り支援は中小企業対策の根幹をなすものです。昨年11月に成立しました補正予算には、事業規模15兆円、総額5600億円超の資金繰り対策を盛り込んだところであり、年度末に向けてニーズが高まる借換保証の推進や、セーフティネット保証・小口零細企業保証等の100%保証の継続、日本公庫や商工中金による直接貸付の充実等、万全を期してまいります。

また、中小企業の皆様は、

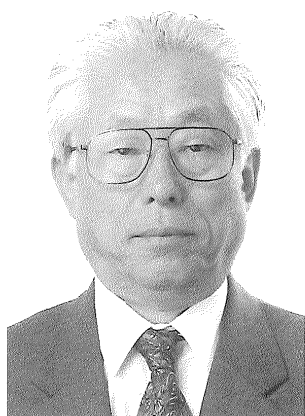
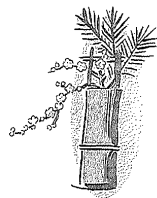
今、共通して苦しんでいるということがあります。地域経済を活性化させるためには、地域の中小企業の皆様に仕事が行き届く施策を進めることが重要であり、先般成立した補正予算にも、経済全体が持ち直すことにより、中小企業の皆様にも仕事が波及するよう、延長した家電エコポイント制度や住宅エコポイント制度の促進策、学校等の施設の耐震化、高規格幹線道路等の社会資本整備などが盛り込まれております。また、官公需においても、昨年閣議決定をした過去最高の中小企業向け契約目標比率を達成するべく、中小企業の皆様の受注機会の増大を図っているところであります。

中小企業の皆様にとっての経営課題の一つとして、人材の確保・育成があげられます。昨今、採用意欲の高い中小企業の皆様が若手人材の採用に苦戦している一方で、若年者の雇用情勢は厳しい状況が続いており、需給のミスマッチが生じております。中小企業における長期インターンシップ制度をさらに拡大するなどを通じて、地域経済の中で中小企業の人材をめぐる新たな社会的ルートを確立させ、ひいては中小企業自身が自律的に道筋をつけて雇用を確保できるよう取り組んでまいります。さらに、中小企業の皆様にとって重要な課題として、技術開発があるため、我が国の産業の基盤であるものづくり中

小企業の技術開発支援や、産学官連携による研究開発支援を通じて、中小企業の皆様の底力向上に取り組んでまいります。

また、中小企業の皆様も国内競争だけでなく、さまざまな分野で国際競争にさらされております。アジアを中心とする海外の需要を自らの成長に取り込んでいくことは、中小企業の皆様にとっても重要な課題であり、昨年岐阜で開催された「APEC中小企業大臣会合」においても、中小企業の発展のためには、グローバル市場へのアクセスの拡大が重要との認識で一致しました。中小企業の皆様の海外展開支援体制を強化するため、昨年10月には、経済産業大臣を長とした「中

中小企業の皆様は、経済を牽引する力であり、社会の主役であります。中小企業の皆様にとって大きな飛躍の年となるよう祈念いたしまして、私からの新年の御挨拶といたします。



年 頭 所 感

全国卸商業団地協同組合連合会 会長 尾池 良行

あけましておめでとうございます。

平成23年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

国内の経済情勢は、円高、デフレの長期化、欧米経済の減速等により、景気の停滞感が一層強まっております。失業率も高水準が続く、若年者の雇用状況も引き続き厳しいものがあります。私ども、卸売業を取り巻く環境も消費の低迷、少子高齢化の進行による市場規模のさらなる縮小、情報・物

流の飛躍的な発展に伴う流通構造の変化等により、卸売業界の中だけではなく、小売・メーカーとの競争も一層激しくなっております。こうした中で、今後卸商業団地が担う役割としては、地域住民のための商品供給の社会インフラとしての役割、地域ブランドの開発や販路拡大による地域経済活性化の役割、地域における雇用拡大の役割、地域における卸商業団地を核とした街づくりなどがあげられるところでありま。

と、卸商業団地の発展、会員の企業の事業の活性化のために努力して参る所存でございます。

当連合会は、各卸商業団地が抱えている諸問題を解決するために、中小企業庁をはじめ関係諸機関に対して永年要望を行って参りました。その結果、おかげをもちまして、平成21年度から全国中小企業団体中央会に「卸商業団地機能向上支援事業」の基金が創設され、現在までに29団地が積極的に活用し、成果が見え始めているところであります。

この機能向上支援事業は、卸商業団地における施設の建て替えや新規立地への移転等の団地再整備(団地再整備事業)、各種共同事業

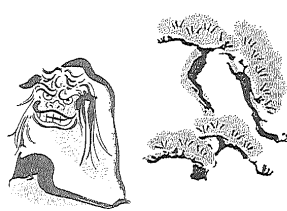
の再構築等による機能強化(共同事業機能強化事業)等、団地機能を向上させるために行う事業を実施するために当たつて必要な調査研究、事業化調査、基本計画・詳細計画策定、システム開発等の費用の一部を助成するものです。

全国各地の卸商業団地にあっては、課題のない組合はないと思われま。この事業を有効に活用され、各々の卸商業団地が発展されることを期待しております。

また、当連合会の関連団体であります一般社団法人日本卸売協会は、昨年に引き続き卸・小売連携のモデル開発事業、人材育成事業等を行っておりますので、これからもご協力を戴きま

すようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の組合並びに組合員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



小企業海外展開支援会議を立ち上げ、農水省やJETRO、中小機構などの関係機関と連携し、地方経済産業局を中心としたきめ細やかな支援に取り組んでおります。さらに、海外展開のみならず、農商工連携を始めとする異分野の中小企業者の連携や地域資源を活用した新事業の展開支援など、意欲のある中小企業の皆様の伸ばすための支援策を重点的に実施してまいります。

年 頭 所 感

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

理事長 前田 正博



新年、明けましておめでとうございます。平成23年の新春を迎えるにあたり、関係機関の皆様、年頭の御挨拶を申し上げます。当機構も、設立されて7回目の新春を迎えること

ができました。これもひとえに中小企業や地域の皆様、関係機関の皆様の暖かいご支援の賜物と、感謝申し上げます。次第であります。

年 頭 所 感

商工組合中央金庫

代表取締役社長 関 哲夫



平成23年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年平成22年の経済を振り返りますと、欧米など先進国の回復が緩じて、緩やかであったのに対し、

近年、我が国の中小企業の経営環境は、リーマンショックなど未曾有の国際金融市場の混乱等の影響により厳しい状態が続いています。一部の産業に持ち直しの動きが見られるものの、今後も欧米経済の見通しの悪化や円高の進行など、先行きは依然として不透明で、楽観できない状況にあります。

この厳しい状況から脱し、持続的な発展をしていくためには、地域経済の担い手である中小企業の皆様が自らの経営基盤を強固なものにし、さらに成長著しいアジア等の海外市場を視野に入れた新しい事業展開等によって将来を切り拓いていくことが必要であると言えます。

最近では、海外への事業展開を図る中小企業が増加しています。今後は、当機構が実施している国際化に関するアドバイスや展示会、出展等に係る支援体制を拡充するとともに、中小機構の本部・支部のネットワークと、中小機構と他機関とのネットワークの二つを強化して参ります。

中小機構の持つ全国九つの支部組織は、中小企業施策をリアルタイムで全国展開できる仕組みであると同時に、地域の中小企業者の皆様の声を確実に受け止めていく仕組みでもあります。

海外展開の支援については、中小機構としても、支部間のネットワークを強化し、中小機構が全国組織である強みを十分に活かして事業を進めていきます。また、地方公共団体や中小企業支援機関等との連携を図りながら、お客様のニーズに 대응することのできる幅広い事業を展開して参ります。

当機構は平成16年7月の足立以来、中小企業のライフステージや課題に合わせた支援体制を整え、中小企業施策の総合的な実施機関としての役割を果たして参りました。また、地域経済の基盤作りにも積極的に取り組んできており、その施策は大きく二つに分かれます。

一つは、積極的に経営革新を行っていくこととする中小企業を支援することです。組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

中国などの新興国では比較的高い成長が続く、わが国も前半を中心に緩やかに回復しました。その後、急激な円高の進行もあり、輸出が弱含みとなったことに加え、エコカー補助金の期限に係る駆け込み需要に対する反動もあって、年末にかけて景気は減速感を強め、一進一退の推移となりました。

このような環境のもと、商工中金はセーフティネット機能の発揮を最重要事項とし、法定された指定金融機関として危機対応業務を中心にその機能発揮に全力をあげて取り組んでまいりました。制度開始以降の危機対応業務の累計実績は平成22年11月末時点で5万8千件、3兆9億円を超える規模となり、中小企業の資金繰りや経営の安定化へ

経済危機後の平成21年1月に過去最低値(2.8)を記録した後は昨年前半まで上昇基調にあり、景況感に持ち直しの兆しがみられました。しかし、8月(8.1)以降は景況判断指数が下落に転じ、売上高は対前年比の増加幅が縮小するなど先行き不透明感が強まりました。

本年も先行き不透明な金融・経済環境が続くことが予想されますが、商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。

現在のような不況期にあつては新しい事業展開によって将来を切り拓こうとする中小企業の起業家精神は貴重であり、新しい雇用の場を生み出す源でもあります。中小企業の新たな取り組みに対して企業と伴走する形で中長期的に課題を解決していく専門家の派遣や、インキュベーション施設の整備やベンチャーファンドはもちろんのこと、新しい商品やサービスを生み出そうとする異分野の連携、地域の資源の活用、農工商連携などの施策もその重要な一翼を担います。

今後はこれまでのビジネスプランが統々と事業化の段階を迎えます。このため、販路開拓活動への支援が益々重要となりますので、テストマーケティングや商談会・展示販売会の開催等の様々な販路開拓の支援ツールを組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これ以上、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

平成二十三年 元旦

全国卸商業団地協同組合連合会
商 団 連 福 祉 共 済 会

潔史厚 芳 目正戸 夏小神 行光弘一同 良昭 裕一 池木井家 尾富福氏 役員 職

年 頭 所 感

全国中小企業団体中央会

会長 鶴田 欣也



平成23年の新春を迎え、お慶びを申し上げます。

組織関係の皆様は謹んで新年のご挨拶を申し上げます。全国中央会の会長職を引き継ぎ、1年半が経過しました。この間、ブロック中央会会長会議や各中央会の

創立55周年記念式典には可能な限り出席し、会長をはじめ各地の中央会役員の皆様との対話に努めて参りました。また、昨年7月には、本会の初めての試みとして中小企業庁をはじめ関係各位のご協力をいただき、「中小企業団体夏期トップセミナー」を開催できましたことは、望外の幸せでありました。本セミナーを継続・発展させ、さらにトップ同士の対話等を通じて「開かれた中央会」を実現し、組合をはじめとする連携組織の発展に全力をあげ

て参る所存であります。昨年を振り返りますと、平成7年以来的円高、レアアースに代表される資源高食糧をはじめとする各種原材料価格の上昇、中国リスクの再認識などの外的要因に加え、エコカー補助金の終了による内需の反動減などにより、再び中小企業の景況は先行き憂鬱が必要となる厳しい状況に到り、新たな年を迎えることとなりました。

一刻も早くこのデフレから脱却しなければなりません。政府は、昨年6月に「中小企業憲章」を閣議決定し、新たに中小企業政策の基本方針を定め、「中小企業組合、業種間連携などの取組を支援し、力の発揮を増幅する」ことを基本原則の一つとして位置付けました。中小企業は、新たな成長分野や地域活力の再生に向けて果敢に挑戦し、雇用の創出に努めるとともに、持てる力を組合等連携組織に結集し、社会的役割を果たしていくことが期待されています。何と云っても、我が国の産業、雇用、生活を支えているのは、中小企業であります。国の礎たる中小企業がしっかりと立ち上がっていくことが、今の我が国にとって何よりも大切なこととあります。

今年は、大企業の海外進出やTTPへの参加に向けた動きが加速化するなどグローバル化という新たな大波が押し寄せてくることでしょう。全国中央会も創立55周年を迎える節目の年となります。また、全国大会は私の地元である愛知県で開催されます。積極的に中小企業の声をお聞きし、その意見を政府首脳に届け、中小企業振興の強化を訴えて参ります。今年こそは、組合等連携組織に結集した多くの関係者から、新たな成長の動きを実感できたという声が聞かれる年となります。また、粉骨砕身努力することをお誓い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念申し上げます。私の年頭の挨拶と致します。

平成二十二年 度卸商業団地機能向上支援事業 二次募集！

平成二十二年 度卸商業団地機能向上支援事業（二次募集）の公募が行われ、以下の四団地が採択された。

○協)八戸総合卸センター

①組合・組合員施設に対する耐震診断の実施 ②太陽光発電による採算性の検証 ③団地内メイン道路接続に伴う防犯対策の強化

○大阪船場繊維卸商団地(協)

①団地再整備のためのまちづくりマスタープランの作成 ②事業計画の策定 ③事業化検討パートナーの募集・選定

○埼玉県南卸売団地(協)

①組合員の「BCP（事業継続計画）策定モデル事業」 ②組合（団地ぐるみ）の防災計画策定事業 ③組合会館・ホールの耐震診断及び避難所としての必要な設備・備蓄品の調査

○ベイタウン尾道

①連棟施設活性化促進のための制度検討 ②多様化モデル地区開発プランの検討 ③地球温暖化対策事業の検討 ④企業立地促進のための情報整備

高度化関係団体との意見交換会開催

高度化関係団体との意見交換会開催

平成二十二年十一月三十日(火)、独立行政法人中小企業基盤整備機構の会議室において、高度化関係団体との意見交換会が開催された。

参加団体は以下の通り
全国卸商業団地協同組合連合会・栗原専務理事、平澤事務局長
全国工場団地協同組合連合会・山下専務理事、有賀総務部長
協同組合全国共同店舗連盟・八田事務局長
全国商店街振興組合連合会・岩崎専務理事、浜野総務課長

会議は、中小機構地域経済振興部太田部長の開会挨拶の後、高度化事業を取り巻く環境と同機構の動きについての説明がなされた。事業仕分けについては、今までに三回実施。第一弾は昨年の十一月に実施。高度化資金については貸付資金の回収に努力する。第二弾は今年の四月に実施。高度化事業については引き続き同機構で実施するが、事業規模は縮減する。第三弾は十一月に実施。一般勘定の資産について二千万円を国庫に返納するという仕分け結果になった。

その後、各団体から業界を取り巻く状況等についての報告がなされ、意見交換が行われた。

トップセミナー開催



講師：岩田 公雄氏



講師：三瀬 顕氏

恒例の商団連と商工中金の共催によるトップセミナーが、さる十一月八日(月)、東京都中央区八重洲の八重洲富士屋ホテル「櫻の間」において開催された。

当日は、全国六十一団地から六十五名が出席、関係諸機関も含めると約八十名が出席した。

読売テレビ報道局特別解説委員の岩田公雄氏及び弁護士の三瀬 顕氏にご講演をお願いした。

岩田解説委員は「政局の行方と日本の将来」と題する演題で、民主党政権の誕生から外交、領土問題、ポスト菅、解散総選挙、経済の問題等について詳しく説明され、政治が極めて大事な局面を迎えており、政治的リーダーシップが求められている。政治がもう一歩よくなれば日本はもっと繁栄できると講演された。

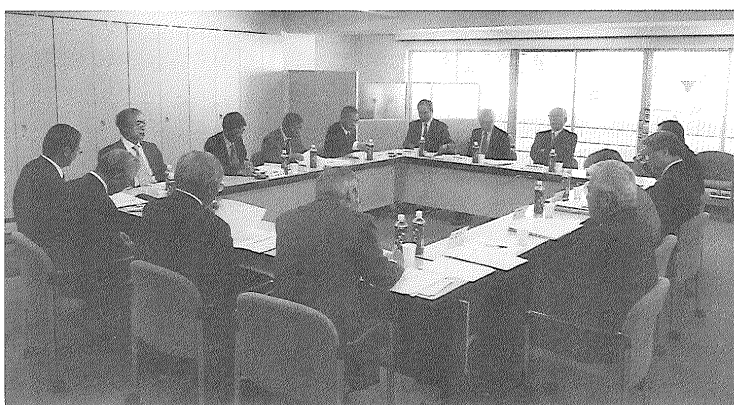
三瀬弁護士は「経営者のための身近な生活実百科」と題する演題で、商売は信用が大事、「商売」は「笑売」で、明らかに商売を行っていくことが必要、笑いの効用（笑いにはすごい力がある。笑いが出ると人間関係もうまく行く、）等について講演された。

講演に引き続き、同会場にて懇親会が行われ、商工中金社長の開宴挨拶、商団連尾池会長の挨拶、乾杯のご発声により、和やかな歓談が行われた。

流市法指定団地との

意見交換会開催

平成二十二年十二月十七日
年金基金の会議室において、
流市法(流通業務市街地の
整備に関する法律)指定団
地との意見交換会が開催さ
れた。



流市法意見交換会

出席団地は以下の通り
南東北総合卸センター(協)、
(協)東京・マルシェ、大阪
機械卸業団地(協)、大阪紙
文具流通センター、大阪メ
ルカト(協)、阪神総合卸商
業団地(協)、岡山県総合流通
センター卸(協)、広島総合
卸センター、(協)福岡卸セン
ター、熊本流通団地(協)
以上十団地

会議は、尾池会長の開会
挨拶の後、各団地から①団
地の現状②規制緩和の事例
③再整備等を進める上でネ
ックになっている事項④行
政等への要望事項等につ
いての報告が行われた。そ
の後、意見交換が行われた。
また、会議には後半から、
独立行政法人中小企業基盤
整備機構の白川審議役が出
席され、「総合特区制度に
ついて」の説明が行われた。

各ブロック会議開催

〔東北ブロック会議〕

東北ブロック会議は、十
月五日仙台市の(協)仙台卸商
センター特別会議室におい
て、十二団地二十名が出席

し開催された。

会議は氏家裕一商団連副
会長(協)仙台卸商セン
ター理事長)の主催者・地元接
拶、来賓紹介を行った後、

(協)仙台卸商センターの施設
等を視察した。視察後(協)
卸商センター板垣文弘専
務理事より、組合の概要、
共同事業、街づくりにつ
いて説明を受けた。

〔関東ブロック会議〕

関東ブロック会議は、十
二月二日(木)神奈川県相模原
市の湯本富士屋ホテルにお
いて、十五団地二十一名が出
席し開催された。

会議は夏目潔商団連副会

〔中部ブロック会議〕

中部ブロック会議は、十
一月十日(水)福井市のホテ
ルフジタ福井において、六
団地十三名が出席し開催さ
れた。

会議は宮本昭光商団連副
会長(協)金沢問屋セン
ター理事長)の開催挨拶、(協)福
井問屋センター上坂泰啓理
事長より地元挨拶をいただ
き、来賓紹介の後中部経済
産業局産業部流通・サビー
ス産業課鈴木直樹課長補佐
より中小卸商業に対する支
援策、最近の流通・物流関
係の取り組み、補正予算の

〔近畿ブロック会議〕

近畿ブロック会議は、十
月十四日(木)大阪市のメルバ
ルク大阪において、十二団
地十九名が出席し開催され
た。

会議は尾池良行商団連副
会長(大阪船場繊維卸商団地
(協)理事長)の主催者挨拶、
当番団地大阪南港中古自動
車(協)吉田康彦理事長の挨拶、
来賓紹介につき中小企業
庁経営支援部産業課藤野琢
巳課長より商業全般の振興
策、卸売業・卸地について
、独立行政法人中小企業
基盤整備機構野澤隆寛理事
並びに同機構制度改正準備
室山本博室長代理より、
集積の重要性、事業仕分け
の結果、高度化事業の今後
の方向性、高度化事業の設
備りし事業活用について、
株式会社商工組合中央金庫

〔中・四国ブロック 会議〕

中・四国ブロック会議は、
十月二十九日(金)高知市の高
知新阪急ホテルにおいて、
十三団地十九名が出席し開
催された。

会議は福井弘商団連副会
長(協)ベイトウン尾道理事
長)の主催者挨拶、地元高
知卸商センター(協)町田貴理



近畿ブロック会議

〔九州ブロック会議〕

九州ブロック会議は、十
一月二十五日(木)熊本市の熊
本キャッスルホテルにおい
て、八団地二十二名が出席
し開催された。

会議は小正芳史商団連副
会長(鹿児島総合卸商業団
地(協)理事長)の主催者挨拶、
熊本流通団地(協)高田肇理
事長の挨拶、来賓紹介につ
き九州経済産業局産業部流
通・サビーシ課斎田浩課長
より中小卸売業に対する支
援策について、熊本県商
工観光労働部商工労働局商
工振興金融課福島裕課長よ
り熊本県の中小企業対策に
ついて、独立行政法人中小
企業基盤整備機構地域経済
振興部地域振興企画課中島
龍三郎課長並びに鈴木孝
員より、事業仕分けの結果、
高度化事業の今後の方向性、
高度化事業の設備りし事
業活用について、同機構九
州支部高木一彦高度化担当
審議役より、九州支部の支
援メニュー、中小企業大学
校について、株式会社商工
組合中央金庫審査第二部古
賀直人部長より景気の現状、
成長戦略総合支援プログラ
ムについて説明が行われた。
カシエアリング事業につ
いて(協)長崎卸センターよ
り説明があり、その後各団
地より現状報告が行われた。
終了後、同ホテルにて懇親
会が行われ、和やかな歓談
が行われた。

関東甲信越卸商業団地

連絡協議会幹事会

関東甲信越卸商業団地連絡協議会幹事会は、十月二十八日(木)長野県長野市市ホテル北館において、会員十五名が出席し開催した。会議は川岸一義代表幹事(高崎卸商社街協)事務理事の挨拶ののち、会議が進められ、はじめに、平成二十一年度事業報告、平成二十二年事業報告(案)、平成二十三年度開催地を埼玉県南卸売団地(協)に決定、関東・東北ブロック会交流会の開催について検討された結果、原案どおり承認された。つづいて卸商業団地機能向上支援事業を実施している参加者から事業の進捗状況について説明が行われ、

その後各参加者より卸団地の現状と問題点等について意見交換が行われた。会議終了後、藤屋御本陣にて懇親会が行われ、協同組合長野アークス夏目潔理事長、山崎兼司監事、寺島潔監事を来賓にお迎えして、和やかな歓談が行われた。

関東甲信越卸商業団地連絡協議会と東北卸商業団地協議会の交流会開催

関東甲信越卸商業団地連絡協議会と東北卸商業団地協議会との交流会が、平成二十二年十一月二十六日(金)、(協)仙台卸商センター特別会議室において開催された。

関東甲信越協議会は十二団地、東北協議会は九団地が出席。商団連からは栗原専務理事がオブザーバーとして出席した。

(協)仙台卸商センターの施設等を見学した後、各協議会の活動内容、団地間の連携等について情報交換を行った。

会員団地記念式典開催

(協)秋田卸センター組合創立四十周年

(協)秋田卸センター(理事長 桑原功氏)の組合創立四十周年記念式典並びに祝賀パーティーが、平成二十二年十月二十二日(金)、秋田キャッスルホテルにおいて行われた。

(協)仙台卸商センター組合創立四十五周年

(協)仙台卸商センター(理事長 氏家裕一氏)の組合創立四十五周年記念式典並びに祝賀パーティーが、平成二十二年十月二十八日(木)、サンフェスタにおいて行われた。

(協)米沢総合卸売センター組合開設四十周年

(協)米沢総合卸売センター(理事長 中村恵一氏)の卸売団地開設四十周年記念式典並びに祝賀会が、平成二十二年十一月十日(水)、グランドホクヨウ米沢において行われた。

編集後記

あけましておめでとうございませう。
商団連事務局も、平成22年7月から栗原専務理事を

迎えた新たな体制となりました。
今年も職員一同、「信頼と絆」を大切に、会員の皆様との連携を更に深め、卸団地の発展、組合員企業の経営基盤の安定、事業の活性化のための一助となる活動を進めて参ります。
商団連では、今年度よりホームページを充実させ、会員の皆様に活用いただけるように、会員のみなさんが「会員専用サイト」を開発しました。国、関係機関、会員団地等からの情報収集に努め、重要情報を迅速に提供して参りますので、組合の活動状況等をお寄せいただけたら幸いです。
今年もどうぞよろしくお願いたします。

(協)仙台卸商センターが「地域づくり総務大臣表彰」を受賞!

この表彰制度は、総務省が、地域の個性豊かな発想を生かし、住民をはじめとして様々な主体が取り組む、魅力あふれる地域づくりを積極的に推進し、顕著な功績のあった市区町村及び地域づくり団体等を対象として表彰しているもので、(協)仙台卸商センターが「平成22年度地域づくり総務大臣表彰」の団体表彰を受賞した。

平成22年12月21日(火)、東京都千代田区のグランドアーク半蔵門において表彰式が行われた。

高崎卸商社街協が「地域活性化貢献組合大賞(中小企業庁長官賞)」を受賞!

この表彰制度は、全国中小企業団体中央会が、地域経済・社会の活性化に果たす中小企業組合の中から、特に他の模範となる組合活動を表彰し、これを広く普及

リンクス

及するとともに永年の真摯な努力を顕彰することとして、高崎卸商社街協が「地域活性化貢献組合大賞(中小企業庁長官賞)」を受賞した。また、(協)仙台卸商センターが「選定委員会特別優秀賞(全国中央会会長賞)」を、鹿兒島総合卸商業団地(協)が「優秀組合(全国中央会会長賞)」をそれぞれ受賞した。

組合歌を披露!

鹿兒島総合卸商業団地(協)は、組合員の結束を深めるため、組合歌「輝け!オロシナイ」を作成した。作詞は玉利佳久理事が担当し、作曲は鹿兒島市を中心に演奏活動をしている「総合特区制度」について

「総合特区制度」について

政府は、「新成長戦略」

『元気な日本』復活のシナ

商団連福祉共済 加入状況

加入状況	(平成22年12月1日現在)
加入団地	93団地 6,448名 17,736口

全国卸商業団地厚生年金基金 月次業務状況

(平成22年11月末 現在)

○基金加入事業所数	1,163件
○加入員数	(男)19,093人 (女)7,913人 (合計)26,985人
○年金受給権者数	(男)12,094人 (女)5,728人 (合計)17,822人
○慶弔金件数	結婚祝金 289件 弔慰金 20件

商団連グループ保険(会社掛)のおすすめ

※組合職員並びに会員組合員企業に勤務する従業員の方々がご加入できます。

不慮の事故による死亡の場合
750万円



病気による死亡の場合
500万円

※40才男性5口の場合

掛金・月額1,410円

不慮の事故による入院の場合
1日3,750円



不慮の事故による障害の場合
175万円～25万円

※ご加入手続き等詳細については、各組合事務局または商団連事務局にお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

会員所在地略図

(○印内の数字は、下表会員ナンバーです)



商団連会員名簿 (順不同)

37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
(協)東京ベ・マルシェ	木更津総合卸商業団地(協)	茂原卸商業団地(協)	船橋総合卸商業団地(協)	千葉総合卸商業団地(協)	(協)越谷卸センター	埼玉県南卸売団地(協)	(協)熊谷流通センター	(協)川越バンテアン	所沢卸商業(協)	(協)前橋問屋センター	高崎卸商社街(協)	宇都宮卸商業団地(協)	(協)栃木卸センター	(協)土浦総合流通センター	(協)下館総合卸センター	会津若松卸商団地(協)	(協)須賀川卸センター	南東北総合卸センター(協)	福島卸商団地(協)	(協)酒田流通センター	(協)山形流通団地	(協)米沢総合卸売センター	(協)横手卸センター	(協)秋田卸センター	(協)仙台卸商センター	(協)盛岡卸センター	(協)八戸流通センター	青森卸売業(協)	(協)八戸総合卸センター	(協)青森総合卸センター	(協)石狩新港卸センター	(協)旭川流通センター	(協)北見総合卸センター	(協)帯広卸売センター	(協)札幌総合卸センター	(協)札幌繊維卸センター
74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38
(協)米子総合卸センター	(協)鳥取卸センター	加古川卸団地(協)	(協)神戸船用品センター	阪神総合卸商業団地(協)	(協)豊岡卸センター	奈良県総合卸商業団地(協)	大阪南港鉄鋼流通(協)	大阪南港中古自動車(協)	大阪メルカイト(協)	(協)大阪紙文具流通センター	大阪機械卸業団地(協)	(協)新大阪セイシティ	泉州卸商業団地(協)	大阪船場繊維卸商団地(協)	大阪金物団地(協)	彦根百貨卸商業(協)	(協)福井問屋センター	(協)金沢問屋センター	(協)高岡問屋センター	(協)富山問屋センター	(協)津卸商業センター	(協)松阪卸センター	(協)高山卸商業センター	(協)一宮繊維卸センター	(協)静岡流通センター	(協)沼津卸商社センター	(協)浜松卸商センター	(協)山梨県流通センター	松本流通センター(協)	(協)長野アークス	上田卸商業(協)	(協)新潟卸センター	(協)川崎卸センター	(協)横浜マイチャングインセンター	小田原卸商業団地(協)	(協)横浜総合卸センター
109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75		
沖縄県卸商業団地(協)	鹿児島総合卸商業団地(協)	熊本流通団地(協)	(協)唐津総合卸センター	(協)佐賀卸センター	(協)有田焼卸団地	(協)延岡卸商業センター	(協)長崎卸センター	(協)佐世保卸団地	(協)久留米繊維流通センター	(協)福岡卸センター	北九州卸商センター(協)	高知卸商センター(協)	(協)松山卸商センター	(協)徳島総合流通センター	徳島木材卸商業団地(協)	(協)徳島繊維卸団地	徳山卸商業団地(協)	(協)柳井総合卸センター	下関問屋センター(協)	(協)広島総合卸センター	(協)三次総合卸センター	(協)呉食料品卸センター	(協)福山卸センター	(協)ベイタウン尾道	岡山県総合流通センター卸(協)	(協)岡山機工センター	(協)津山卸センター	(協)津山総合食品卸売市場	(協)松江流通センター	浜田卸商業(協)	(協)益田卸センター	(協)松江卸センター	(協)米子中央食品卸売団地	(協)倉吉総合卸センター		

(平成23年1月1日現在)